

森の文化のおおた

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～



昨年度文化の森フォーラムから (撮影: 松浦 克巳)

今年の文化の森フォーラムは、「文化プレーヤーの総会」を主旨として、4月23日(土)に開催。“みんなで語ろう文化プレーヤーの絆”と題して全員参加型の公開討論会を目指します。

昨年10周年の節目を迎え、先輩方が築いてこられた文化の森を当時の情報誌や資料などで改めて見直しました。今も大事に引き継がれていることや形を変えながら現在の形に到達したものが沢山あります。一方、やろうとしてやれずにいたこと、タイミングが合わずできなかったことなど埋もれたお宝も眠っているように感じました。また同時に、新しく文化の森を利用された方々が、10年の重みと厚い歴史の壁を乗り越えられず、今一步踏み込めずにいたような気もします。

これまで築いてこられた礎を基に、埋もれている財産を掘りおこし、新しい風を吹き込むことはできないでしょうか？ 11年目の節目のスタート地点を迎えようとしている今、「森」で何ができるのか、どのような形にしていきたいか、当事者として一緒に考えてみませんか？

プレーヤーの皆様や運営協議会の行事に参加した皆様が文化の森で楽しく活動され活躍の場を広げていかれること、また、文化の森に集うみんなが老いも若きも先人も新人も！本当に気持ちよく集まれる場となることを願っております。

そのために当フォーラムが新たな出発点となれば幸いです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。。

運営委員/ 2011文化の森フォーラム実行委員長 常名さとみ

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

大田文化の森で、あなたの企画が実現しました。2011新年度に向けて昨年秋に公募した結果が出ました。応募総数45企画から28企画を実施します。そのうち4・

巻頭特集

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日(日)に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか？

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、大田文化の森は弾みます

盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

- 実行委員会からのメッセージはこちら
- 事業部からのメッセージはこちら
- 運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶

名残の六郷用水、完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか？

伝統を引き継ぐ、期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。

5・6月スタート(別掲)を除いたものが以下の開催企画です。ぜひご参加下さい(変更の場合があります)。



4月15日からのエクササイズ「ZUMBA」のモデルたち=スポーツスタジオ

<ホール&多目的室>

- ◆「クラシック音楽の世界を楽しむ」コンサート(8月2日)
- ◆珠玉の思い出コンサート(11月23日)
- ◆「子連れで楽しむ名作文学」名作を知っていただき、演劇を体感(1月29日)

<集会棟>

- ◆メディアを見る目を養おう!(全6回、6月27日~)
- ◆丈夫な歯を育てよう
~子どもの食育と歯の健康~(全3回、7月10日~)
- ◆品の良いとっさの英会話(全3回、8月)
- ◆手話サポート付きの工房教室(全4回、9月)
- ◆いきるってなあに? ~子どもの心と体~(全5回、9月3日~)
- ◆世界で1冊の絵本づくり
~絵本がつなぐハートとハート~(全6回、9月10日~)
- ◆13弦の小さなお箏文化講座(全5回、9月10日~)
- ◆自分を知る!初めての占星学入門講座(全3回、9月21日~)

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
2011年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

巻頭特集

満10年に向かって、 大田文化の森は弾みます 盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

お蔭様で、今年11月3日に開設満10年を迎える大田文化の森運営協議会。これまで地域の皆様のご支持を得て、文化活動としてのさまざまなイベント企画を開催して参りましたが、2011新年度がスタートするにあたって更なる意気込みはいかに。5つの実行委員会（芸術事業・まちづくり・異文化交流・誰でも楽しめる・子ども若者たちの）の各委員長、ならびに運営協議会の4事業部（広報・文化プレーヤー・公募・自主事業）の各部長に、それぞれの思いを綴っていただきました。

※4事業部の思いは[こちらの](#)ページです。

ふやしたい、保育付きの講座

まちづくり実行委員会 北岡 三子

まちづくり実行委員会では、前年度には連続講座2企画を入れた13企画の事業を実施して参りました。1カ月1企画の割合で実施した事になりますが、特に料理講座やガーデニング講座は人気が高く2~3倍の応募があり、申し込みをしてもなかなか当選できないという声も聞かれました。また、子育て中の皆さんにも参加できるように保育付き講座もいくつか取り組み、文化の森独自の保育チームの協力で実施する事が出来ました。

新年度におきましては10年先のことを考え、子育て中の方々が参加できるように、保育付きの講座を昨年以上に増やし実施する予定です。また地域と連携を図りながらの健康講座や救命救護の体験講座など、さらに大田区民と東御市民との童謡唱歌交流事業につきましても、小中学生にも参加を促し、童謡唱歌を通じての交流を図って参る所存です。料理講習会では、特に人気のあるハーブ料理や日本そば打ち講習会も年1回は実施して、一人でも多くの区民の皆さんに体験できる機会を設けていきたいと思っております。



通年で楽しめる企画が売りです

誰でも楽しめる実行委員会 景山 弓張

<報告>

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日(日)に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか？

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、 大田文化の森は弾みます 盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

[○実行委員会からのメッセージはこちら](#)

[○事業部からのメッセージはこちら](#)

[○運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶](#)

名残の六郷用水、 完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか？

伝統を引き継ぐ、 期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った 「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。

イベント情報
文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。
■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
2011年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

毎月、第1水曜日は「ワイワイガヤガヤ折り紙の森」、第2水曜日は「森のアート」、第4水曜日は「森のこだま」と、「水曜日に文化の森へ行けば誰でも楽しめる」という企画が定着してきました。とくに「森のこだま」の合唱には毎回200名近くの方がいらっしやり、ときには定員オーバーで整理券を配る日も。



「森のアート」は終了しましたが、一方で新企画「誰でも簡単！リフレッシュ体操」も始まり、また毎月第1金曜日の「誰でも楽しめる音読の会」では朗読を通して呼吸法、発声法を学ぶこともできます。「和楽器とコーラスのハートフルコンサート」も順調でした。

<展望>

私たちの実行委員会は通年企画が多いこともあって、毎回企画を楽しみにして下さる方が増えてきています。また毎月・毎週、「この日に文化の森へ行けば楽しいことが待っている」という企画の開催の周知が定着しています。

これから新しい企画を増やしつつ、毎月文化の森へ来ることを楽しみにしている人たちのために誰でも楽しめる企画を心がけます。

感動呼ぶ企画充実へ

子ども・若者たちの実行委員会 小川 滋也

昨年度、子ども・若者たちの実行委員会は実行委員11名で出発。“文化プレーヤーの皆さんと協調&より充実した企画立案”のスローガンのもと進んで参りました。年間を通して“日本の伝統文化・伝統行事”を中心に、「やさしい科学実験」「子ども落語講座」「おはなしの部屋」など、夏休みは「フィンガーペインティング」を企画し、応募者多数で大成功でした。



特に「もくもく～ドライアイス実験～」では募集定員の2倍の申し込みがあり、講座も親子で楽しめる内容で、夏休み自由研究には格好の題材になりました。また「笹の葉さらさら・お箏で奏でる七夕まつり」では、七夕飾りに願いをこめて文化箏で“七夕”を演奏。七夕の由来や星についてお話をし、抹茶を立てて礼儀作法を学びました。「お正月を先取り体験しちゃおう」は正月についての伝統文化・食文化・遊びの3要素を取り入れた講座でした。子どもたちの目の輝きに大人もビックリ！さあ！新年度はさらに充実した企画で、未来にはばたく子どもたちに感動の世界を！

暮らしの中のアートをさらに追求

芸術事業実行委員会 小木 則子

好評の江戸文化講座「大江戸塾」もⅠ・Ⅱ・Ⅲと講座を開催しました。毎回応募がたいへん多く、奥深い江戸時代をあらゆる観点からみて捉える講座内容に、参加者の関心が集まっています。



また、若い世代ではやっているデコする（盛ること）をテーマに、「粘土でつくるデコスイーツ」を企画しました。高校生や年代の若い方々に指導者になって頂いた事で、新しい層の交流が生まれました。参加した小学生の多くが夏休みの自由課題として学校に提出した事を知り、嬉しく思っています。

前年度のコンセプトは「広めようアートの輪を！」でした。委員が一致団結して新し

い試み「芸術祭」を企画、3月26日に多くの文化プレーヤーの方々の参画・協賛のもと開催しました。

新年度は「暮らしの中のアート」をさらに追求していきながら、身近な大田文化の森で区民の方々にいろいろなアートを楽しんでいただけるよう、努力を重ねていきたいと思えます。

国際化、ますます異文化の理解高めて

異文化交流実行委員会 野溝 淳子

<報告>

「多文化共生」への関心と理解のために①異なる文化や価値観を「知る場」、②異なる文化的背景をもつ人達との「交流の場」の企画に取り組んでいます。今期は7企画実施。◆異文化理解講座「地球の反対側のhotな親日国ブラジルを知ろう」(4/4)講師は日系3世A・イシ准教授、パネリストに日系2世・3世。◆「ニールソンさんと英語でクッキング」(8/22)会席料理が得意な豪州人が講師。◆「日本語とハングルで韓国料理を楽しもう」(10/24)インチョン出身若手料理研究家が協力。食文化の話と調理を楽しんだ。◆「みんなで一緒にゴスペル・クリスマスコンサート」(12/12)ゴスペル(米国黒人教会文化が生んだ「魂の歌」)演奏を聴き、歌って親しんだ。◆「多文化カフェ」テーマ別で3回実施。★実施企画は好評。しかし、実働可能な委員が増えないことが最大の課題。



<新年度の展望>

グローバル化、国際化、少子高齢化が進む今、異なる他者の理解・尊重をテーマとする「知る(学ぶ)場」「交流の場」の提供の重要性は高まっています。しかし、仕事量・責任・負担の大きさに比し、委員が少な過ぎ、新年度の活動は極めて困難な状況。そこで実行委員会へ多くの区民の参加を引き続き呼び掛けています。タイムリーで質の高い企画立案・運営をしませんか！

おおた文化の森

満10年に向かって、 大田文化の森は弾みます 盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

運営協議会の4事業部（広報・文化プレーヤー・公募・自主事業）の各部長に、それぞれの思いを綴っていただきました。
※5つの実行委員会の意気込みは[こちら](#)で語っていただきました

より進めたい地域との交流

広報事業部 沼本光史

昨年度、情報誌「おおた文化の森」も新編集長・池田敏夫委員のもと36、37、38号そして本誌39号と編集を進めさせていただきました。「文化の森創立10周年」の佳節にあたる年度でもありましたので多くの方々のご寄稿、ご尽力をいただきました。本誌を借りて心からの感謝を申し上げたいと存じます。



広報宣伝プロパガンダ

(propaganda)の機能は、情報溢れる今の時代、その団体の生命線です。いかに有効、適切に、しかもわかりやすく、いかに多くの人にご理解と共感の行動を起こしていただけるか、私たちにとっては本当に大きな課題なのです。

この観点から、今年度特に挑戦したい課題は「より一層の地域交流推進とその拡大」です。ホームページでもリアルタイムな情報をご提供いたしますが、最後の頼りは皆さんのご理解と具体的なお力添えです。忌憚のないご意見とご提案、どしどしお願いいたします。100台のPCも10人の口コミの力にはかなわない！どうぞ広報にご協力を！

6つのチームワークで前へ

文化プレーヤー事業部 奥田和子

文化プレーヤー事業部は、6つのチーム（「企画サポート」「広報」「記録」「IT」「サロン交流会」「保育」）による事業と、「ウエルカム・ミーティング」「文化プレーヤーの集い」、「文化プレーヤー対象講座」等の企画運営や「研修交流会」企画の協力を行いました。特筆すべきは、2010年5月にスタートした「保育チーム」の活動です。運営協議会主催事業に子育て世代が参加しやすいよう、支援するために結成されました。また「広報チーム」が提案した文化プレーヤー対象企画「ワードでチラシを作ってみよう！」講座の修了生たちが「チラシグループ」を立ち上げ、依頼された運営協議会主催事業企



巻頭特集

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日（日）に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか？

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、 大田文化の森は弾みます 盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

- 実行委員会からのメッセージは[こちら](#)
- 事業部からのメッセージは[こちら](#)
- 運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶

名残の六郷用水、 完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか？

伝統を引き継ぐ、 期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った 「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。



今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加をお待ちしています。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。
■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
2011年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

画のチラシを作成する活動を行っています。

新年度は6つのチームへより多くの方々をお誘いして、実際の活動に参加していただき、文化プレーヤー（ボランティア）のやりがいと楽しさをお伝えできるように努めたいと思います。

記念色豊かだった昨年度、ことしは!

自主事業部 中屋 錦江

運営協議会委員が独自に企画・実施し運営していく事業と、個人として企画、或いは団体が自主的に企画・実施し、運営協議会委員がサポートしていくのが自主事業部です。昨年度は文化の森10周年にあたり個人企画、団体企画に加えて運営協議会独自の企画が増え10周年記念に花を添えました。文化の森シネマ館からは村橋明朗監督をお呼びした「椰子からの手紙」や「ディア・ドクター」など年間4本を上映しました。



新派の水谷八重子さんによる朗読劇「おおつごもり」そして「10周年の集い」。新沼博江（旧姓 湯木博恵）さん、歌手 新沼謙治さん夫妻による「スポーツと私と家族～メダリストに聞く夫婦のトークショー～」など、盛り沢山の企画で区民の皆様楽しんでいただいた事と思います。

振り返ると忙しい一年でした。23年度に向けて、1つ1つの企画内容を検討しさらなる充実を図りたいと話し合いました。

区民の皆様喜んで文化の森へ足を運んで頂けますよう自主事業部会一同頑張りますので、皆様のご協力を宜しく願います。

公募企画、前年度より1.5倍増

公募事業部 古屋 伸樹

公募事業は、区民文化活動の支援という設立趣旨に沿った運営協議会事業の大きな柱の一つです。新年度の実施企画については、より多くの区民に利用してもらうために、公募案内で支援内容をより強調するとともに募集期間も延長しました。その結果45件という多くの応募がありました。書類審査、面接、室場予約の関係等で何件か減りましたが、それでも昨年度の約1.5倍の企画を実施することになりました。実施にあたっては担当委員だけでなく委員全員がサポートいたします。



また支援内容について、今までの実施企画を検証しつつ検討しました。そして企画内容に対応した予算上限を決めました。ただし、支援対象については、基本的な考え方のみ定め企画ごとに対応することとしました。

今期はその基本的な考え方に沿って実施を支援するとともに、来期実施の募集については支援対象をより明確にして、さらに多くの応募を期待します。

運営協議会、新会長に太田黒 恵委員を選任

大田文化の森運営協議会では4月1日付で役員人事を発表しました。新会長に選任されたのは太田黒 恵委員で、2011新年度から始動いたします。

太田黒 恵会長の話 1年前に区役所で女性面接官に「あなたにやって欲しいことがたくさんあります」と言われて、皆さんの仲間入りが出来ました。1年余り“文化の森”の新入りとして走って参りました。この度、青天の霹靂、運営協議会会長に選任されました。10年の節目にやらなければいけないことを14人の委員さんと共に考え、プレーヤーの皆様方、そして創成からご苦労された諸先輩の方々のお力をお借りして、一緒に頑張って参りますのでお力添えをお願い申し上げます。



おおた文化の森

巻頭特集

名残の六郷用水、 完成400年の春を迎えて 緩やかな300年、急激な変化100年のいま

巡るせせらぎに春を感じるシーズン。大田区にはかつて“六郷用水”という水の流れが心を和ませたものですが、ことし2月に完成400年を迎えた今、どうなっているのでしょうか。大田区立郷土博物館学芸員・北村敏さんに寄稿していただきました。

見えなくなった用水路 復元1キロの水の風景で昔を偲ぶ

2009年2月文化の森フェスタに、区立郷土博物館学習グループ・水路の会が「六郷用水をさぐる」をテーマに初出展した。これを機に昔、大田区にも大規模用水路網があったと知られ、地元の歴史的水環境への関心も寄せられ始めた。一方、出展ごとに玉川上水や神田上水・品川用水、時にはお濠の水と混同され、説明の苦労も多くなった。そこで「水路の会」や「六郷用水の会（10年5月発足の学習・案内集団）」では、用水を簡潔に説明する「用水キーワード」と「5W1H(いつ・どこで・誰が・なぜ・どうした・どうなった)」を編み出した。以下、駆け足だが紹介する。

- いつー江戸幕府成立6年前の1597年から用水ルート調査と工事を開始、16年後の1611年2月に完成。本年(2011)は「完成400年の節目」に当たる。
- どこで・どのようにー用水取水点は大田区から10数km上流の和泉村(現・狛江市)。多摩川左岸に灌漑専用の用水路本線を開削、矢口で南堀(蒲田・羽田・六郷方面灌漑)と北堀(池上・中央・大森方面灌漑)に分流、更に内堀(小堀)網で大田区低地域の六郷領35カ村全域に配水。六郷用水の名は本流だけでなく、配水網全域の名称となる。
- 誰がー1590年に関八州の領主となった徳川家康は、家臣の小泉次大夫を工事奉行にし、農民を開削人夫に使役。
- なぜー政治的背景には、家康の米増産・領国形成安定策。自然的背景には、自然湧水小河川の呑川・内川では灌漑不十分な多摩川左岸平坦地(六郷領=大田区)を人工河川(六郷用水)にて水田開発する。多摩川右岸の川崎・稲毛領も同様(二ヶ領用水)に開発する。使役農民は労力負担・年貢増より、開発新田と余剰米の獲得に期待し従事。
- どうしたー完成後、六郷領は1.3倍に石高(生産高)上昇。1752年の灌漑水田面積は800町歩余、流域の世



田園調布本町、現時点・親水散策路風景



1948年頃の鶺の木1丁目5番付近

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日(日)に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか？

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、 大田文化の森は弾みます

盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

○実行委員会からのメッセージはこちら

○事業部からのメッセージはこちら

○運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶

名残の六郷用水、 完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか？

伝統を引き継ぐ、 期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った 「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。

イベント情報
文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版

2011年4月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail：info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



ゴミ溜となっていた1974年頃の池上4丁目付近

田谷領も含む1000町余。1882年には1100町歩余に拡大、1898年が一帯で六郷本組合だけでも1012町歩を灌漑、江戸・明治期を通じて地元への恩恵は多大。

●どうなった－明治末～昭和初年にかけて当区は急速に市街地（都市）化する。用水網は都市化で生活排（廃）水路（＝ドブ川）に変質。1946年4月に受益者不在となった「六郷用水普通水利組合」は解散。1960年代からはゴミ捨て場となったドブ川の暗渠化（＝マンホール埋設）が進み、水路敷は車歩道や植栽帯となり街の中から姿を消す。現在、田園調布本町に湧水循環式用水親水路が1ヶ所ほど復元され、憩いの道となっている。ただ、区内全域に潜む水路跡はアスファルトの下に忘れられたままである。「城南の米蔵」を生み支えた用水は「灌漑水路→生活排水路→ドブ川→埋設マンホール→車歩道・植栽帯→（親水散策路）」と大田区の400年を緩く・激しく駆け抜けて来た。「緩やかな300年、急激な100年」がその姿である。

●どうしよう－私たちの足元には、暮らしと歩んだ水の風景の400年が潜んでいる。都会の中の復元だが「水面の可視化」も大切だ。同時に街の未来を水の歴史を介して考える「歴史への可視化」への工夫も求められているのではなかろうか。



■自然のロマン、ホタルが見られるお寺です

ホタルが見られるお寺って、興味ありませんか。環境問題が叫ばれ続けている中で、私がふと思いついたのが我が家周辺の環境づくり。環境に一番敏感なホタルをわが手で育てて、皆さんと一緒に観賞したい。そのためには庭園内に清らかな水の流れと蓮池をつくって環境を整え、草むしりにも農薬や除草剤を一切使わない自然を維持する。

メス10匹、オス5匹を買い付けてから早5年。養殖ケース内で成虫に育て上げるまで、数100匹以上の幼虫に餌（カワニナ、巻き貝の一種）を与え続けるのにも神経を遣いますが、お蔭様で昨年初めて約70匹の成虫が池の周りを飛び交い、お誘いした皆さんに自然の風物詩を味わっていただきました。

今年も5月末頃から一週間ほど（午後7時半～10時、無料）飛び交うことを期待して、皆さんに自然の贈り物を届けたい！ 問い合わせる場合は03-3778-3434までどうぞ。

山王3丁目 善慶寺住職・壘 慈鴻(もたい じこう、63歳)

このコーナーは読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちよつとい話」（300字以内）の投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合はinfo@ota-bunkanomori.jpまで。誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）・年齢・在地名とさせていただきますが、住所・氏名・年齢・電話番号を明記してください。

おおた文化の森

伝統を引き継ぐ、期待の若者たち

少子高齢化が加速する現代、残してほしいものはたくさんある。伝統文化もその一つ。引き継いでくれ！若者たち。そんな期待を担う皆さんにご登場願いました。どんな気持ちでいま携わっているのでしょうか。

学校で脈々と踊り続けて

大田区立貝塚中学校 民舞和太鼓部 一同

貝塚中学校 民舞和太鼓部は8年前から活動を始めました。顧問の先生の「和太鼓を叩く楽しさを体験してほしい」との願いで発足しました。文化祭や体育祭でも南中ソーランを行い、演技種目として今でも続いています。

また、同時期に都立南高校で行われていた御神楽という踊りを「地域の学校で引き継いで欲しい」とのお話があり、貝中生が教えていただき、南高校としての最後の体育祭と一緒に演技し、貝塚中の生徒で今でも脈々と踊り続けています。

幸いなことに地域の盆踊りや学校その他の餅つき大会、同窓会、お祭り等のイベントに呼んでいただき、たくさん発表させていただいています。今後もそんな地域とのかわりを大切にして活動していきたいと思っています。



フェスタで、貝塚中（撮影：松浦克巳）

出会った部活で進路が決まり、夢が持てた

大崎実花（21歳）

今年創部10周年を迎える東調布中学校三味線部は、三味線のみならず、長唄や箏の練習にも力を入れている由緒正しい部活です。この部活が創られた当時、私は入学したばかりで、蓮田美恵子先生の部活動説明会でのご自身の演奏とその凛とした姿が印象的で、入部しようと決めたのを覚えています。東京藝術大学邦楽科に在学中の今でも足繁く中学校に通い、部員たちとふれあいながら三味線の指導の勉強をさせて頂いています。普段ふれあうことの少ない和楽器ですが、そのぶん、部員たちは夢中になって練習をしています。私の夢は、そんな子どもたちが増えることです。「三味線って何?」「箏って何?」と聞かれた時に、答えることができる。それって素敵なことなんじゃないでしょうか?



ぼくと空手

吉田壮輝（8歳）

巻頭特集

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日(日)に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか?

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、大田文化の森は弾みます

盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

[○実行委員会からのメッセージはこちら](#)

[○事業部からのメッセージはこちら](#)

[○運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶](#)

名残の六郷用水、完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか?

伝統を引き継ぐ、期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加をお待ちしています。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
 大田文化の森運営協議会まで
 電話：03-3772-0770
 FAX：03-3772-0704
 ■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。
 ■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
 2011年4月1日発行
 発行 大田文化の森運営協議会
 編集人 池田敏夫
 Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
 電話 03-3772-0770
 FAX03-3772-0704
 E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
 大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

ぼくは、1年半前に空手をはじめました。最初は、空手がうまくできませんでした。けれどがんばって、しんさをうけたので、とびきゅうして、とてもうれしかったです。それから、がんばって、しんさをうけています。空手をやってうれしかったことは、学校や学年のちがう人とも、なかよくなれたことです。



いやなこともありました。たとえば、かたがうまくできなくて、いっぱい、ちゅういされて、ないたり、しあいでまけたり、しました。でも、強くなると楽しいので、これからもがんばります。

お花、くきを切るのが楽しくて

内田陵太（16歳）

私は茶道を自らの意志でやろうとは思っていませんでした。ただ小学校2年生のとき、落ち着きのなかった私を落ち着かせるために母が勧めてくれたのが始まりでした。茶道を始めた頃は茶道独特の静かな空間に慣れなくて、そわそわしていました。そんな中、唯一興味を持ったのがお菓子でした。甘い物が大好きで見て楽しめるお菓子は面白いと感じたのが私の茶道の始まりでした。そして徐々にお点前にも惹かれていき、特にお茶を点てる事が今でも好きです。そして現在、私は昔苦手だった茶道独特の静けさが好きで続けています。



お花、くきを切るのが楽しくて

中谷真優（7歳）

大田文化の森フェスタでお花をやってみよう、とおもったのは、おねえちゃんがなっているお花の先生がいたからです。それに、おねえちゃんのおもちがフェスタで見本のお花を文化の森の玄関にいました。



先生に水切りというのを教えてもらいました。お水がつめたかったけれど、水の中でくきを切るのはたのしかったです。むずかしかったのは、どこにさせばよいかわからなかったところです。でも先生がやさしくおしえてくれました。とくにレースフラワーというお花がかわいくてすきでした。

春になったら、おうちでママやおねえちゃんといっしょに、ももやさくらの花をいけてみたいです。これからもいけばなをやりたいとおもいました。

おおた文化の森

4大イベント最後を飾った 「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度4大イベントの最後を飾る「10周年大田文化の森フェスタ ～みんな集まれ、未来にジャンプ!!～」が去る2月6日(日)開催されました。晴天、気温も急上昇して日中は3月上旬の暖かさに、未来を担う子どもたちが大集合。その数、1300人を

超える賑やかさで、親子連れが目立ったのは子どもが喜ぶ姿を見たい親心の表れでしょう。文化の森周辺にはたくさんさんの幼稚園、小学校がありますが、そんな地域の潜在的な力を感じました。集客を考えた場合の企画立案には

子どもをいかに動員させるか、どう興味を持たせるか否かが欠かせないという実感が改めて示された回答例ではなかったでしょうか。

中でも多目的室(5階)のワークショップ会場はどの企画も大変な賑わいでした。子どもたちが体を使って遊ぶ球投げなどに参加して手に入れた駄菓子券はまたたく間になくなり、駄菓子コーナーでは予想以上の人出に2回の追加の買い出しも間に合わず、閉場1時間前には売り切れ御免。バルーンアートの実技に参加、子ども相手のボランティアにも関わってくれた蒲田女子高校の生徒たちも「たくさんの人に会えて、本当に楽しかった」と嬉しそう。4階はどの企画も長い時間をかけて勉強したり教わったりするものが多かったのですが、親御さんが子どもたちを見る目が印象的でした。

3階では親子一緒にダンボールハウスを作っている姿に、子より親の方が夢中になっているな!と微笑ましい様子も。和室で行われた茶道体験企画では120人を超える人気ぶりでした。3階の食事処&休憩室も超満員、手作りの食物は売り切れて早々に閉店。1階はスポーツスタジオで体力測定、ギャラリーでは幼稚園児と小学生の作品展が目を引きました。

ホールでは大田区で活躍する子どもたちに様々な企画に参加して頂きました。キッズダンスの可愛いパフォーマンス、空手演武での板割りにはびっくり!三味線と琴、獅子舞の伝統芸能にはしっとり感、高校生の和太鼓の実力には思わず納得。最後のポクポク山さんの不思議な世界観に感動できて、ほんとに楽しい演目の数々でした。

運営委員 / 10周年大田文化の森フェスタ実行委員長 池田昭宣

■2010年度の他の3大イベントは「文化の森フォーラム」(5月8日)、「大田文化の森夏祭り」(7月30・31日)、「文化の森収穫祭」(11月3日)がそれぞれ開催され、ことしもフォーラム4月23日、夏祭り7月29・30日、収穫祭11月13日が決まっています。



ダンボールハウス制作のようす

巻頭特集

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日(日)に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか?

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、 大田文化の森は弾みます

盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

○実行委員会からのメッセージはこちら

○事業部からのメッセージはこちら

○運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶

名残の六郷用水、 完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか?

伝統を引き継ぐ、 期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちょっといい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った 「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。

イベント情報
文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版

2011年4月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

文化の森 イベント情報 何でもあり

いろいろなことが始まる春。文化の森でも様々なイベントが開催されます。

※下記の情報は情報誌発行時のものです。最新にイベント情報は運営協議会のサイトで確認してください。

<http://www.ota-bunkanomori.jp/event.html>

楽しいイベントが一杯！ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

●森のこだま

文化の森創立と同時にスタートしたシニア対象の歌う会。収穫祭での舞台参加も有り。一人暮らしの方や家にこもりがちの方を誘って、一緒に懐かしい歌や文部省唱歌などをうたいませんか。

□開催日時：毎月第4水曜（4月27日、5月25日、6月22日、7月27日、8月24日、9月28日、10月26日、11月23日、12月28日、1月25日、2月22日、3月28日）10：00～11：45

□会場：5階多目的室 □対象：どなたでも（未就学児の同伴可）

□定員：当日先着200名

●第3回大田ジャズフェスティバル

学生・一般のアマチュアバンドやプロのトランペット奏者・木幡光邦氏を招いて、習う（ジャズセミナー）、弾く（ジャムセッション）、聴く（演奏）など、指導と演奏を含むジャムセッションとジャズ演奏。

□開催日時：5月14日（土）

<第一部>学生の部（小・中・高・大）：13:00～15:45

<第二部>一般の部：17:00～20:30

□会場：大田文化の森ホール □対象：小学生以上（未就学児同伴不可） □参加費：<第一部>500円<第二部>学生当日1000円・前売500円、大人当日1500円・前売り1000円

□定員：各部先着250名 □申込：3月14日（月）10:00～大田文化の森1階フロントにて、3月15日（火）10:00～アプリコ・プラザにてチケット販売。但し学生券は文化の森のみでの販売。

●母の日コンサート ～音の花束をあなたに～

フルート・歌・ピアノによるコンサート。開演前/休憩時にドリンクサービス有り。お母様、奥様、ご友人とゆったりとしたひとときをどうぞ。

□開催日時：5月15日（日）19:15～21:00 □会場：大田文化の森ホール □対象：小学生以上（未就学児同伴不可）

□参加費：1500円（1ドリンク付） □定員：先着150名

□申込：4月27日（水）必着 ※4階事務局でチケット販売も有り

●読み語り「朗読メドレー」

大田区ゆかりの作家のエピソードを交えて、「花」をテーマに毎回いくつかの作品を紹介する。

□開催日時：6月18日、10月15日、2月18日（土）14：00～17：00 □会場：5階多目的室（10月以降未定） □対象：どなたでも（未就学児の同伴不可） □参加費：1回500円 □定員：当日先着80名

●「バンドネオンと魅惑のアルゼンチンタンゴ」コンサート

バンドネオンがリードするタンゴの調べと本格的なアルゼンチンタンゴの踊りをお楽しみ下さい。

□開催日時：7月3日（日）14：00～16：00 □会場：大田文化の森ホール □対象：小学生以上、文化に関心のある方（未就学児同伴不可） □参加日：小学生無料、中学生以上500円

□定員：抽選で200名 □申込：6月16日（木）必着

巻頭特集

文化の森フォーラム

4月23日（土）開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日（日）に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか？

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、大田文化の森は弾みます

盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

○実行委員会からのメッセージはこちら

○事業部からのメッセージはこちら

○運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶

名残の六郷用水、完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか？

伝統を引き継ぐ、期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。

●夏のコンサート ～オペラの散歩道～

お話を交えながら、楽しくオペラの名曲を紹介。

- 開催日時：7月24日（日）14：00～16：00 □会場：大田文化の森ホール □対象：小学生以上（未就学児の同伴不可）
□参加費：小学生無料、中学生以上1000円 □定員：抽選で150名 □申込：6月30日（木）必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会
電話：03-3772-0770 FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います
（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森1階受付になります。

生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

●誰でも楽しめる「音読の会」

音読の基本を学び、語りや朗読を通じて幅広い活動のできるボランティアを育てることが目的。

- 開催日時：毎月第1金曜（4月1日、5月6日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日、1月6日、2月3日、3月2日）9：00～12：00
□会場：4階第4集会室 □対象：どなたでも（未就学児同伴不可） □定員：当日先着20名

●「楽しいフレスコ画に挑戦！」共同制作展

大田文化の森運営協議会主催の4回講座「楽しいフレスコ画に挑戦！」に参加された方々制作の、共同作品並びに個々人の小作品の展示。

- 開催日時：4月11日（月）13:00～18日（月）12:00 初日・最終日以外9：00～17：00（土・日含む） □会場：大田区役所本庁舎1階展示場

●森の「言葉を楽しもう会」

音読の会のメンバーを中心に、あらゆるジャンルを題材にして参加者全員で楽しむ。指導者のプチ講演も含む。

- 開催日時：基本第3水曜（4月20日、5月20日、6月15日、8月17日、9月21日、10月19日、11月16日、12月21日、2月15日、3月21日）10：00～12：00 □会場：4階第3・4集会室（4・6・8・9月）、ほか5階多目的室 □対象：どなたでも（未就学児同伴不可） □定員：当日先着50名

●「笑顔がいっぱい おおたユニバーサル駅伝大会」写真展

さまざまな人々がチームを組んで、駅伝と支え合う楽しさを体験した大会の写真展。あなたも参加しませんか？

- 開催日時：5月13日（金）13:00～16日（月）12:00 初日・最終日以外10：00～19：00（土・日含む） □会場：1階展示コーナー

●生と死・葬送セミナー

誰にでも訪れる人生の卒業＝お別れについて、知って学べるセミナーを開催！万一の時に備えて。

- 開催日時：6月10日、7月8日、8月12日（各金）14:00～16:00 □会場：3階第1集会室 □対象：どなたでも（未就学児同伴不可） □参加費：1500円（全3回分） □定員：抽選で20名 □申込：5月24日（火）必着

●スッキリ暮らすための整理収納セミナー

コツを学んでスッキリした生活を実現しよう。①基本講座②「親子で学ぶ」③「老後のため」の3回講座。

- 開催日時：①6月16日、②8月25日、③10月20日（各木）10：00～12：00 □会場：4階第3集会室 □対象：①③どなたでも（未就学児同伴不可）②小学生と保護者 □参加費：①③800円②1組800円 □定員：抽選で①③30名②15組 □申込：希望回を明記の上、①6月2日（木）②8月4日（木）③10月6日（木）必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会
電話：03-3772-0770 FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います
（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森1階

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加をお待ちしています。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
2011年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

体験してみよう！ 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

●わいわい がやがや おりがみの森

日本の伝承文化である折り紙を折ることで、日本文化の良さを見直し、さらに指先を動かすこと、折り方を考えることで脳の活性化を図る。

□開催日時：毎月第2水曜（4月13日、5月11日、6月8日、7月13日、8月10日、9月14日、10月12日、11月9日、12月14日、1月11日、2月8日、3月14日）10：00～12：00

□会場：4階第3・第4集会室 □対象：小学生以上（未就学児の同伴可） □参加費：1回300円（材料費込み） □定員：当日先着45名

●アート・アニメーションをつくってみよう

生活の中で考えていることを題材に、自分のためのアニメーションをつくる。アートを体験して考える場。発表会有り。

□開催日時：5月6・13・20日（各金）18：30～21：30 □会場：3階美術室<発表会：5階多目的室 5月28日(土)>

□対象：小学生以上（但し、小学生の場合保護者同伴のこと。未就学児同伴不可）

□参加費：2000円（発表会込みの全4回分）

□定員：抽選で30名 □申込：4月21日（木）必着

●父の日企画「『ちよいイケパパ』へ改造計画」

愛されパパに大変身。お似合いのスタイルを個別に伝授。

□開催日時：5月15・22日（各日）10：00～11：45 □会場：3階第1集会室 □対

象：変身したいパパ □参加費：2500円（全2回分） □定員：抽選で12名 □申

込：4月27日（水）必着

●親子で作ろう ～わくわく ランチクッキング～

休日のランチを子どもと一緒に作ってみませんか。子ども達には包丁や火の扱い方など、料理の基本から。パパとの参加、兄弟姉妹との参加も大歓迎。

□開催日時：5月21日、6月25日、7月23日（各土）9：30～11：30 □会場：3階

調理室 □対象：小学校低学年とその保護者 □参加費：1人1500円（全3回分）

□定員：抽選で12組 □申込：4月25日（月）必着

●初級～中級者向け「民謡をうたおう」教室

日本の伝統的な民族音楽である民謡を、民謡独自の腹式呼吸による発声・リズムの取り方など、基本から優しく学ぶ6回講座。

□開催日時：6月3・17日、7月1・15日、8月5・19日（各金）13：30～15：

30 □会場：3階和室 □対象：どなたでも（未就学児同伴不可） □参加費：

3000円（全6回分） □定員：抽選で30名 □申込：5月21日(土)必着

●ヘルシーで美味しい花巻寿司づくりにチャレンジ！

海苔はヘルシーで美味しい。大森特産品を地域に普及するためにも、好評企画。

□開催日時：6月12日（日）10：00～14：00 □会場：3階調理室 □対象：小学

生以上（未就学児同伴不可） □参加費：小学生500円、中学生以上1000円 □定

員：抽選で30名

□申込：5月30日（月）必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会

電話：03-3772-0770 FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います

（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は 大田文化の森 1 階 受付になります。

おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ? 何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。

『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m²)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。

施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する
- 3.運営協議会が行う自主事業に参画する。

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

巻頭特集

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日(日)に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか?

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、大田文化の森は弾みます

盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

[○実行委員会からのメッセージはこちら](#)

[○事業部からのメッセージはこちら](#)

[○運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶](#)

名残の六郷用水、完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか?

伝統を引き継ぐ、期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



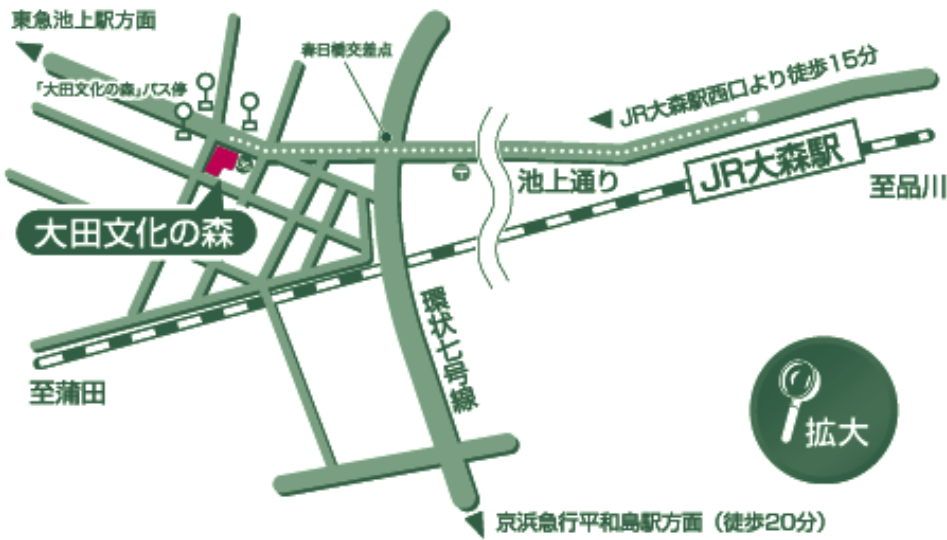
読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。

大田文化の森 アクセス情報



文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加をお待ちしています。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版

2011年4月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

■東急池上線池上駅より

東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車

■JR大森駅（西口）より

東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車

■JR蒲田駅（西口）

東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局

〒143-0024 大田区中央2-10-1

電話：03-3772-0770/FAX：03-3772-0704

詳しい地図は[こちら](#)をクリックしてください。地図検索サイトNAVITIMEにリンクします。

おおた文化の森

編集後記

昔、用水は畑に水を与え、収穫された野菜を洗う場所（「洗い場」）として利用されていたが、今は殆どが暗渠となってしまったと、6頁で紹介された「六郷用水」。しかし、住民の強い思いが行政を動かし、区内で一番古いトンネルをくぐる場所から鶴の木地区までは鯉、小魚、湧水、カワニナ（ホタルの餌）が生息し、春は枝垂れ桜、夏は木陰、秋は紅葉、冬は梅が楽しめる散歩道になっています。そんな散歩道、今は跡形も無い「洗い場」を私は、梅香る頃の先日、個人の敷地内で見せていただくツアーに参加し、400年前に建築された「六郷用水」の魅力を再発見しました。

運営委員 熊倉まえ子

投稿欄「ちょっといい話」に寄せられた善慶寺のホタル公開の原稿がいつか編集部で話題になった折の話。委員の中から「区立洗足池公園でも、大森第6中学校の生徒たちが一生懸命頑張ってホタルが自生できる池を造成したよ」との一言あり。なんでも14種類の植物を植えて完成させ、いま幼虫を育てているところだという。自生するには3年はかかるそうですが、環境保護に取り組む若者たちの願いが叶えばいいですね。

本稿の編集から、新しいスタッフが入りました。事務局の新人、井 香央里さん。子育てママで、子どもと文化の森の工作教室に来た折、募集広告を見て応募したと言います。仕事との両立、大変だろうな？と尋ねましたら「夫が理解してますから」とさり。ならばガンガン編集デスクの仕事をやして私は楽になるのかな。ま、それは冗談ですが、心強い助っ人が出来ましたことをご報告まで。

運営委員（編集長） 池田 敏夫

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

巻頭特集

文化の森フォーラム

4月23日(土)開催

～みんなで語ろう文化プレーヤーの絆～

2011年4月23日（日）に行われる全員参加型の大田文化の森フォーラムのご案内です。11年目のスタートとして文化の森が何ができるのか、考えてみませんか？

あなたの応募企画を実施します

2011新年度公募企画決定

昨年秋から公募した2011年度の公募企画が決定しました。開催が決定したイベントのご紹介です。

読み応えのあるコラムが自慢

満10年に向かって、 大田文化の森は弾みます

盛りだくさん、イベントを産み出すチカラたち

2011年度がスタートするに当たり、5つの実行委員会と4つの事業部の委員からのメッセージです。

[○実行委員会からのメッセージはこちら](#)

[○事業部からのメッセージはこちら](#)

[○運営協議会新会長太田黒 恵委員のご挨拶](#)

名残の六郷用水、 完成400年の春を迎えて

緩やかな300年、急激な変化100年のいま

大田区にかつては六郷用水という水の流れがあったことを知っていますか？

伝統を引き継ぐ、 期待の若者たち

伝統文化を引き継ぐ若者達をご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちょっといい話をお聞かせ下さい。

4大イベント最後を飾った 「文化の森フェスタ」

はしゃぐ子どもたち、親も喜び大盛況!

2010年度最後の4大イベントだった、文化の森フェスタの様子をお知らせします。



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版

2011年4月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。